

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-10-Lg2 <b>授業科目名</b> (時間割コード:044101) フランス語Ⅰ (1) French I フランス語Ⅰ French I	<b>科目区分</b> コミュニケーション科目	<b>時間割</b> 2021年度 前期月3,木2	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 <b>特定プログラムとの対応</b> 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義 グループワーク	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> モーリエール フランソワ, 太田 陽子, 園部 裕子	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 講義90分 × 週2回 × 15回 + 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)			
<b>授業の概要</b> 日常生活でコミュニケーション手段として使われている生きたフランス語を題材に、まずは挨拶などの慣用表現から始める。毎回、教科書に沿って少しずつ初級文法・基本語彙を説明し、フランス語の仕組みを理解できるようにする。フランス語を正確に読み、聞き、書き、話す総合的な能力が身につくよう、読解だけでなく、聴き取りや発音練習を繰り返し行う。			
<b>授業の目的</b> フランス語の初歩的な文法・語彙・発音規則を習得する。日本語とも英語とも異なる言葉の使い方を学ぶ。言葉の背景にある考え方、文化や社会についても理解できるようになる。			
<b>到達目標</b>			
フランス語検定試験5級合格程度の語学力が獲得できる。 言葉の背景にある考え方、文化や社会について説明できる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 平常点(出席および授業への積極的な参加)40%、中間試験20%、期末試験40%によって総合的に評価する。いずれかの要素が「0ゼロ」の場合、単位は認定されない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
教科書に沿って、まず音声を聞き、会話文や例文を理解し、各課の練習問題を解く。 初級段階で習得すべき基本的な文法・語彙・表現に慣れ親しみ、実際に使えるようにする。			
<b>【学習の方法】</b> 受講生には、目・口・耳・手など、からだ全体を使って学習に取り組むことが求められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業に出席し、そのつどしっかり理解・練習すること。</li> <li>・進路に合わせて予習、復習、宿題をして授業にのぞむこと。</li> <li>・音声を繰り返し聴き、声に出して読む練習を継続すること。</li> </ul>			
<b>【授業計画】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回~第15回 (学習範囲については、初回の授業で指示する)</li> <li>※各クラス、各曜日ごとに、中間試験を行う。日程や範囲については授業中に指示する。</li> </ul>			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験</li> <li>※全クラス合同で行う。</li> </ul>			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学習: 1時間×週2回×15週=30時間</li> <li>・事後学習: 1時間×週2回×15週=30時間</li> </ul> ※語学は一度にまとめて勉強しても身につけません。毎回少しずつ、継続するのがコツです。			
<b>教科書・参考書等</b> 月曜、木曜、それぞれ一つの教科書を進める。生協書籍部にて購入すること。 月曜: 『ぜんぶ話して! Dis-moi tout』改訂版、白水社 2600円+税 木曜: 『フランス語にダイブ! Le grand saut』朝日出版社 2300円+税			
辞書は紙のものを購入し、毎回、必ず授業に持参すること。 自分で実際に手に取って見て、使いやすそうなものを選ぶとよい。 推薦辞書として『プチ・ロワイヤル』(旺文社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)、『ディコ』(白水社)、『クラウン』(三省堂)、『プログレッシブ』(小学館)。			
ポケット版は1年間の必要単語数を満たさないなので、使用してはいけません。 電子辞書は、初学者は単語を引くのに時間がかかりすぎるので、推奨しない。			

スマートフォンを辞書代わりに使用してはならない。

オフィスアワー 各担当教員が講義中に指示する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業中の会話や聞き取り練習には積極的に参加すること。まったく参加しない場合は「不可」とすることも  
ある。

ナンバリングコード B2FRA-abxG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード:044102) フランス語 I (2) French I フランス語 I French I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月3,木3	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 フランス語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義 グループワーク	単位数 2	
担当教員名 園部 裕子, 太田 陽子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 週2回 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)			
<b>授業の概要</b>			
日常生活でコミュニケーション手段として使われている生きたフランス語を題材に、まずは挨拶などの慣用表現から始める。毎回、教科書に沿って少しずつ初級文法・基本語彙を説明し、フランス語の仕組みを理解できるようにする。フランス語を正確に読み、聞き、書き、話す総合的な能力が身につくよう、読解だけでなく、聴き取りや発音練習を繰り返し行う。			
<b>授業の目的</b>			
フランス語の初歩的な文法・語彙・発音規則を習得する。日本語とも英語とも異なる言葉の使い方を学ぶ。言葉の背景にある考え方、文化や社会についても理解できるようになる。			
<b>到達目標</b>			
フランス語検定試験5級合格程度の語学力が獲得できる。 言葉の背景にある考え方、文化や社会について説明できる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b>			
平常点(出席および授業への積極的な参加)40%、中間試験20%、期末試験40%によって総合的に評価する。いずれかの要素が「0ゼロ」の場合、単位は認定されない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
教科書に沿って、まず音声を聞き、会話文や例文を理解し、各課の練習問題を解く。 初級段階で習得すべき基本的な文法・語彙・表現に慣れ親しみ、実際に使えるようにする。			
<b>【学習の方法】</b>			
受講生には、目・口・耳・手など、からだ全体を使って学習に取り組むことが求められる。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回授業に出席し、そのつどしっかり理解・練習すること。</li> <li>・ 進路に合わせて予習、復習、宿題をして授業にのぞむこと。</li> <li>・ 音声を繰り返し聴き、声に出して読む練習を継続すること。</li> </ul>			
<b>【授業計画】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回~第15回 (学習範囲については、初回の授業で指示する)</li> <li>※各クラス、各曜日ごとに、中間試験を行う。日程や範囲については授業中に指示する。</li> </ul>			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期末試験</li> <li>※全クラス合同で行う。</li> </ul>			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備学習:1時間×週2回×15週=30時間</li> <li>・ 事後学習:1時間×週2回×15週=30時間</li> </ul>			
※語学は一度にまとめて勉強しても身につけません。毎回少しずつ、継続するのがコツです。			
<b>教科書・参考書等</b>			
月曜、木曜、それぞれ一つの教科書を進める。生協書籍部にて購入すること。 月曜:『ぜんぶ話して! Dis-moi tout』改訂版、白水社 2600円+税 木曜:『フランス語にダイブ! Le grand saut』朝日出版社 2300円+税			
辞書は紙のものを購入し、毎回、必ず授業に持参すること。 自分で実際に手に取って見て、使いやすそうなものを選ぶとよい。 推薦辞書として『プチ・ロワイヤル』(旺文社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)、『ディコ』(白水社)、『クラウン』(三省堂)、『プログレッシブ』(小学館)。			
ポケット版は1年間の必要単語数を満たさないもので、使用してはいけない。 電子辞書は、初学者は単語を引くのに時間がかかりすぎるので、推奨しない。			

スマートフォンを辞書代わりに使用してはならない。

オフィスアワー 各担当教員が講義中に指示する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業中の会話や聞き取り練習には積極的に参加すること。まったく参加しない場合は「不可」とすることも  
ある。

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-10-Lg2 <b>授業科目名</b> (時間割コード:044104) フランス語 I (3) French I フランス語 I French I	<b>科目区分</b> コミュニケーション 科目	<b>時間割</b> 2021年度 前期月4,木2	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> :大教センター <b>DPコード</b> :abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義 グループワーク	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> モーリエール フランソワ, 園部 裕子	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 講義90分 × 週2回 × 15回 + 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)			
<b>授業の概要</b> 日常生活でコミュニケーション手段として使われている生きたフランス語を題材に、まずは挨拶などの慣用表現から始める。毎回、教科書に沿って少しずつ初級文法・基本語彙を説明し、フランス語の仕組みを理解できるようにする。フランス語を正確に読み、聞き、書き、話す総合的な能力が身につくよう、読解だけでなく、聴き取りや発音練習を繰り返し行う。			
<b>授業の目的</b> フランス語の初歩的な文法・語彙・発音規則を習得する。日本語とも英語とも異なる言葉の使い方を学ぶ。言葉の背景にある考え方、文化や社会についても理解できるようになる。			
<b>到達目標</b>			
フランス語検定試験5級合格程度の語学力が獲得できる。 言葉の背景にある考え方、文化や社会について説明できる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 平常点(出席および授業への積極的な参加)40%、中間試験20%、期末試験40%によって総合的に評価する。いずれかの要素が「0ゼロ」の場合、単位は認定されない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
教科書に沿って、まず音声を聞き、会話文や例文を理解し、各課の練習問題を解く。 初級段階で習得すべき基本的な文法・語彙・表現に慣れ親しみ、実際に使えるようにする。			
<b>【学習の方法】</b> 受講生には、目・口・耳・手など、からだ全体を使って学習に取り組むことが求められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業に出席し、そのつどしっかり理解・練習すること。</li> <li>・進路に合わせて予習、復習、宿題をして授業にのぞむこと。</li> <li>・音声を繰り返し聴き、声に出して読む練習を継続すること。</li> </ul>			
<b>【授業計画】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回～第15回 (学習範囲については、初回の授業で指示する)</li> <li>※各クラス、各曜日ごとに、中間試験を行う。日程や範囲については授業中に指示する。</li> </ul>			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験</li> <li>※全クラス合同で行う。</li> </ul>			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学習:1時間×週2回×15週=30時間</li> <li>・事後学習:1時間×週2回×15週=30時間</li> </ul> ※語学は一度にまとめて勉強しても身につけません。毎回少しずつ、継続するのがコツです。			
<b>教科書・参考書等</b> 月曜、木曜、それぞれ一つの教科書を進める。生協書籍部にて購入すること。 月曜:『ぜんぶ話して! Dis-moi tout』改訂版、白水社 2600円+税 木曜:『フランス語にダイブ! Le grand saut』朝日出版社 2300円+税			
辞書は紙のものを購入し、毎回、必ず授業に持参すること。 自分で実際に手に取って見て、使いやすそうなものを選ぶとよい。 推薦辞書として『プチ・ロワイヤル』(旺文社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)、『ディコ』(白水社)、『クラウン』(三省堂)、『プログレッシブ』(小学館)。			
ポケット版は1年間の必要単語数を満たさないので、使用してはいけない。 電子辞書は、初学者は単語を引くのに時間がかかりすぎるので、推奨しない。			

スマートフォンを辞書代わりに使用してはならない。

オフィスアワー 各担当教員が講義中に指示する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業中の会話や聞き取り練習には積極的に参加すること。まったく参加しない場合は「不可」とすることも  
ある。

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-10-Lg2 <b>授業科目名</b> (時間割コード:044201) フランス語Ⅱ(1) French II フランス語Ⅱ French II	<b>科目区分</b> コミュニケーション 科目	<b>時間割</b> 2021年度 後期月3,木2	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> :大教センター <b>DPコード</b> :abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義 グループワーク	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> 園部 裕子, 太田 陽子	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 講義90分×週2回×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> 日常生活でコミュニケーション手段として使われている生きたフランス語を題材に、まずは挨拶などの慣用表現から始める。毎回、教科書に沿って少しずつ初級文法・基本語彙を説明し、フランス語の仕組みを理解できるようにする。フランス語を正確に読み、聞き、書き、話す総合的な能力が身につくよう、読解だけでなく、聴き取りや発音練習を繰り返し行う。			
<b>授業の目的</b> フランス語の初歩的な文法・語彙・発音規則を習得する。日本語とも英語とも異なる言葉の使い方を学ぶ。言葉の背景にある考え方、文化や社会についても理解できるようになる。			
<b>到達目標</b>			
フランス語検定試験5級合格程度の語学力が獲得できる。 言葉の背景にある考え方、文化や社会について説明できる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 平常点(出席および授業への積極的な参加)40%、中間試験20%、期末試験40%によって総合的に評価する。いずれかの要素が「0ゼロ」の場合、単位は認定されない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
教科書に沿って、まず音声を聞き、会話文や例文を理解し、各課の練習問題を解く。 初級段階で習得すべき基本的な文法・語彙・表現に慣れ親しみ、実際に使えるようにする。			
<b>【学習の方法】</b> 受講生には、目・口・耳・手など、からだ全体を使って学習に取り組むことが求められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業に出席し、そのつどしっかり理解・練習すること。</li> <li>・進路に合わせて予習、復習、宿題をして授業にのぞむこと。</li> <li>・音声を繰り返し聴き、声に出して読む練習を継続すること。</li> </ul>			
<b>【授業計画】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回～第15回 (学習範囲については、初回の授業で指示する)</li> <li>※各クラス、各曜日ごとに、中間試験を行う。日程や範囲については授業中に指示する。</li> </ul>			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験</li> <li>※全クラス合同で行う。</li> </ul>			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学習:1時間×週2回×15週=30時間</li> <li>・事後学習:1時間×週2回×15週=30時間</li> </ul> ※語学は一度にまとめて勉強しても身につけません。毎回少しずつ、継続するのがコツです。			
<b>教科書・参考書等</b> 月曜、木曜、それぞれ一つの教科書を進める。生協書籍部にて購入すること。 月曜:『ぜんぶ話して! Dis-moi tout』改訂版、白水社 2600円+税 木曜:『フランス語にダイブ! Le grand saut』朝日出版社 2300円+税			
辞書は紙のものを購入し、毎回、必ず授業に持参すること。 自分で実際に手に取って見て、使いやすそうなものを選ぶとよい。 推薦辞書として『プチ・ロワイヤル』(旺文社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)、『ディコ』(白水社)、『クラウン』(三省堂)、『プログレッシブ』(小学館)。			
ポケット版は1年間の必要単語数を満たさないので、使用してはいけません。 電子辞書は、初学者は単語を引くのに時間がかかりすぎるので、推奨しない。			

スマートフォンを辞書代わりに使用してはならない。

オフィスアワー 各担当教員が講義中に指示する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業中の会話や聞き取り練習には積極的に参加すること。まったく参加しない場合は「不可」とすることも  
ある。

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-10-Lg2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 044202) フランス語Ⅱ (2) French II フランス語Ⅱ French II	<b>科目区分</b> コミュニケーション科目	<b>時間割</b> 2021年度 後期月3, 木3	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義 グループワーク	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> モーリエール フランソワ, 太田 陽子, 園部 裕子	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 講義90分 × 週2回 × 15回 + 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)			
<b>授業の概要</b> 日常生活でコミュニケーション手段として使われている生きたフランス語を題材に、まずは挨拶などの慣用表現から始める。毎回、教科書に沿って少しずつ初級文法・基本語彙を説明し、フランス語の仕組みを理解できるようにする。フランス語を正確に読み、聞き、書き、話す総合的な能力が身につくよう、読解だけでなく、聴き取りや発音練習を繰り返し行う。			
<b>授業の目的</b> フランス語の初歩的な文法・語彙・発音規則を習得する。日本語とも英語とも異なる言葉の使い方を学ぶ。言葉の背景にある考え方、文化や社会についても理解できるようになる。			
<b>到達目標</b>			
フランス語検定試験5級合格程度の語学力が獲得できる。 言葉の背景にある考え方、文化や社会について説明できる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 平常点(出席および授業への積極的な参加)40%、中間試験20%、期末試験40%によって総合的に評価する。いずれかの要素が「0ゼロ」の場合、単位は認定されない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
教科書に沿って、まず音声を聞き、会話文や例文を理解し、各課の練習問題を解く。 初級段階で習得すべき基本的な文法・語彙・表現に慣れ親しみ、実際に使えるようにする。			
<b>【学習の方法】</b> 受講生には、目・口・耳・手など、からだ全体を使って学習に取り組むことが求められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業に出席し、そのつどしっかり理解・練習すること。</li> <li>・進路に合わせて予習、復習、宿題をして授業にのぞむこと。</li> <li>・音声を繰り返し聴き、声に出して読む練習を継続すること。</li> </ul>			
<b>【授業計画】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回～第15回 (学習範囲については、初回の授業で指示する)</li> <li>※各クラス、各曜日ごとに、中間試験を行う。日程や範囲については授業中に指示する。</li> </ul>			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験</li> <li>※全クラス合同で行う。</li> </ul>			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学習: 1時間×週2回×15週=30時間</li> <li>・事後学習: 1時間×週2回×15週=30時間</li> </ul> ※語学は一度にまとめて勉強しても身につけません。毎回少しずつ、継続するのがコツです。			
<b>教科書・参考書等</b> 月曜、木曜、それぞれ一つの教科書を進める。生協書籍部にて購入すること。 月曜: 『ぜんぶ話して! Dis-moi tout』改訂版、白水社 2600円+税 木曜: 『フランス語にダイブ! Le grand saut』朝日出版社 2300円+税			
辞書は紙のものを購入し、毎回、必ず授業に持参すること。 自分で実際に手に取って見て、使いやすそうなものを選ぶとよい。 推薦辞書として『プチ・ロワイヤル』(旺文社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)、『ディコ』(白水社)、『クラウン』(三省堂)、『プログレッシブ』(小学館)。			
ポケット版は1年間の必要単語数を満たさないなので、使用してはいけない。 電子辞書は、初学者は単語を引くのに時間がかかりすぎるので、推奨しない。			

スマートフォンを辞書代わりに使用してはならない。

オフィスアワー 各担当教員が講義中に指示する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業中の会話や聞き取り練習には積極的に参加すること。まったく参加しない場合は「不可」とすることも  
ある。

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-10-Lg2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 044204) フランス語Ⅱ (3) French II フランス語Ⅱ French II	<b>科目区分</b> コミュニケーション 科目	<b>時間割</b> 2021年度 後期月4, 木2	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士: 基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義 グループワーク	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> モーリエール フランソワ, 園部 裕子	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 講義90分 × 週2回 × 15回 + 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)			
<b>授業の概要</b> 日常生活でコミュニケーション手段として使われている生きたフランス語を題材に、まずは挨拶などの慣用表現から始める。毎回、教科書に沿って少しずつ初級文法・基本語彙を説明し、フランス語の仕組みを理解できるようにする。フランス語を正確に読み、聞き、書き、話す総合的な能力が身につくよう、読解だけでなく、聴き取りや発音練習を繰り返し行う。			
<b>授業の目的</b> フランス語の初歩的な文法・語彙・発音規則を習得する。日本語とも英語とも異なる言葉の使い方を学ぶ。言葉の背景にある考え方、文化や社会についても理解できるようになる。			
<b>到達目標</b>			
フランス語検定試験5級合格程度の語学力が獲得できる。 言葉の背景にある考え方、文化や社会について説明できる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 平常点(出席および授業への積極的な参加)40%、中間試験20%、期末試験40%によって総合的に評価する。いずれかの要素が「0ゼロ」の場合、単位は認定されない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
教科書に沿って、まず音声を聞き、会話文や例文を理解し、各課の練習問題を解く。 初級段階で習得すべき基本的な文法・語彙・表現に慣れ親しみ、実際に使えるようにする。			
<b>【学習の方法】</b> 受講生には、目・口・耳・手など、からだ全体を使って学習に取り組むことが求められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業に出席し、そのつどしっかり理解・練習すること。</li> <li>・進路に合わせて予習、復習、宿題をして授業にのぞむこと。</li> <li>・音声を繰り返し聴き、声に出して読む練習を継続すること。</li> </ul>			
<b>【授業計画】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回～第15回 (学習範囲については、初回の授業で指示する)</li> <li>※各クラス、各曜日ごとに、中間試験を行う。日程や範囲については授業中に指示する。</li> </ul>			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験</li> <li>※全クラス合同で行う。</li> </ul>			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学習: 1時間×週2回×15週=30時間</li> <li>・事後学習: 1時間×週2回×15週=30時間</li> </ul> ※語学は一度にまとめて勉強しても身につけません。毎回少しずつ、継続するのがコツです。			
<b>教科書・参考書等</b> 月曜、木曜、それぞれ一つの教科書を進める。生協書籍部にて購入すること。 月曜: 『ぜんぶ話して! Dis-moi tout』改訂版、白水社 2600円+税 木曜: 『フランス語にダイブ! Le grand saut』朝日出版社 2300円+税			
辞書は紙のものを購入し、毎回、必ず授業に持参すること。 自分で実際に手に取って見て、使いやすそうなものを選ぶとよい。 推薦辞書として『プチ・ロワイヤル』(旺文社)、『ロベール・クレ』(駿河台出版社)、『ディコ』(白水社)、『クラウン』(三省堂)、『プログレッシブ』(小学館)。			
ポケット版は1年間の必要単語数を満たさないなので、使用してはいけない。 電子辞書は、初学者は単語を引くのに時間がかかりすぎるので、推奨しない。			

スマートフォンを辞書代わりに使用してはならない。

オフィスアワー 各担当教員が講義中に指示する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業中の会話や聞き取り練習には積極的に参加すること。まったく参加しない場合は「不可」とすることも  
ある。

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-1N-Lg1 <b>授業科目名</b> (時間割コード:044301) フランス語Ⅲ(1) French III フランス語 III French III	<b>科目区分</b> コミュニケーション 科目	<b>時間割</b> 2021年度 前期木3	<b>対象年次</b> 2～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> :大教センター <b>DPコード</b> :abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム
	<b>授業形態</b> 講義 グループワーク	<b>単位数</b> 1	
<b>担当教員名</b> 園部 裕子	<b>関連授業科目</b> フランス語会話III <b>履修推奨科目</b> フランス語I, II		
<b>学習時間</b> 講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> フランスの個性ある地域について学びながら文法基礎の完成をめざす教科書を用いる。語彙力をつけながら、これまでに学習した文法の復習、まだ学習していない文法の学習をする。フランス各地域の文化、社会、生活などについての知識・情報を得たうえで、短文の読解、作文や会話の練習をする。			
<b>授業の目的</b> 1年次のフランス語I、IIで学んだ基本的な文法・語彙や慣用表現を確実に使える。フランス語の短文を読める。フランスの地域とその文化や社会について、簡単な説明ができる。			
<b>到達目標</b>			
基礎文法を使って旅行や日常生活で簡単な会話ができる。 フランスの地域とその文化や社会について簡単な説明ができる。 仏検3級合格程度のフランス語力を獲得する。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 平常点(授業への参加)、中間試験、期末試験により、総合的に評価する。平常点30%、中間試験30%、期末試験40%。平常点は、積極的な参加や発表が評価の対象となる。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業の方法】</b> 教科書は、フランスの名所を順に旅行して回る内容になっているので、実践的な表現を学んでいきます。さらにインターネット上の「Webなびふらんせ」に登録して、自宅で発音練習をしたり、習熟度を確認したりしながら進められます。 教科書からいくつかの課を抜粋し、各課の練習問題は宿題とする。			
<b>【授業計画】</b> 第1回 オリエンテーション(授業の概要、学習の仕方の説明、Lecon 0 et 1:フランスの都市と名所を確認、Le Havre et Rouen) 第2～6回 5課分を目安に、調整する * 中間試験 第8～15回 5課分を目安に、調整する 学期末試験			
この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。			
<b>【自学自習に関するアドバイス】</b> * 予習(毎回、1時間ずつ) ①その課で訪れる都市について、場所や名所、名物を確認しておく。 ②Vocabulaireの単語について、辞書で再確認し、発音練習をする。 ③文法のページを確認する。 ④「読んでみよう」の短文の意味を考えておく。			
* 復習(毎回、1時間ずつ) ①「Webなびふらんせ」に登録して、クイズ形式の文法問題を解いて復習する。 ②次回までに覚えるべき活用などの発音練習をしながら綴りを確認する。 ③宿題として教科書の問題を解く。 ④Webでその課の「テスト」を解く。 ⑤Webの「ポートフォリオ」で学習記録を確認する。			
* コツ 新しい語彙や文法事項はそのつどしっかり覚え、復習する。出された宿題は必ずやる。			
<b>教科書・参考書等</b> 横道朝子、『なびふらんせ2 (フランス世界遺産をめぐる)』、朝日出版社、2,500円+税			

久保田剛史ほか『フランス語動詞60ー活用・用法・索引』朝日出版社、1500円+税  
必ず2冊とも購入して自宅学習に使い、授業にも持参すること。  
辞書は必ず授業に持参すること。

**オフィスアワー** まず授業時に相談すること。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

この授業では受講者が会話や発音練習をしたり、問題を解いたりしながら進められます。誰でも間違えて当たり前なので、積極的に参加して下さい。

ナンバリングコード B2FRA-abxG-1N-Eg1 授業科目名 (時間割コード:044401) フランス語会話Ⅲ (1) French conversation Ⅲ French conversation Ⅲ	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月2	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 フランス語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習 グループワーク	単位数 1	
担当教員名 園部 裕子	関連授業科目 フランス語		
	履修推奨科目 フランス語		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> フランス語をたくさん聞いたり、会話したりする作業が中心の、アクティブラーニング方式の授業です。挨拶、職業や住んでいる場所についてたずねる、好き嫌いの程度を言い表す、人物の描写などについて、フランス語を使って口頭で表現する練習をする。間違ってもまったく気にしなくて良いので、とにかく声を出し、たくさん発言してもらいたい。  フランス語を使って話をしてみたい学生を歓迎します。  <b>【他の授業科目との関連】</b> フランス語会話Ⅲは、口と耳を使う訓練を中心に行う。フランス語Ⅲは、文法項目の学習に基づいた言語運用能力の向上をめざす授業になる。合わせて総合的なフランス語運用能力の向上を目指す。			
<b>授業の目的</b> ・1年目の既習文法を使いこなすことが目的。 ・フランス語に慣れ、聞き取りと会話能力を少しずつのばす。 性数の一致と冠詞・所有形容詞に気をつけ、動詞の現在形の活用を使ってやりとりできる。 ・持ち物、趣味、人物などについて、短いやりとりができる程度の能力(DELTA A2程度*)が身につく。 *DELTAはフランス国民教育省認定の公式フランス語資格			
<b>到達目標</b>			
・性数一致に気をつけて冠詞・所有形容詞を使える。 ・動詞の現在形の活用を使える。 ・挨拶、職業、自分の好み、自分のこと、家族のことなどについて会話できる。 ・自分と家族など身近な人物を紹介する expose (2分程度の発表)をフランス語でできるようになる。 以上は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 日常点(積極的な参加と宿題の提出)30%、授業の成果として最終回に行う自己&知人紹介20%、学習した内容について筆記の期末試験50% などにより、総合的に評価する。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
1年目に学んだ基礎文法、動詞の現在形の活用を使いこなせるようにするための授業です。 身の回りの物・趣味・性格や特徴についての語彙を学んで、口頭で使ってみる。とくに性数一致に気をつけて発音する練習を続けて、自己&知人紹介ができるようにする。  *授業中に使う課題は、外国語としてのフランス語(Francais Langue Etrangere: FLE)学習用にフランスで発行された教材を中心に、日本人向けの聞き取り教材、インターネット上の音源などから用意する。  <b>【授業の課題】</b> ○自分および、自分と性別の違う知人(家族、友人など)についての紹介を2分程度の自己&知人紹介として準備し、最終回に発表する。 ○教科書の問題から出される宿題により、学習内容を確認する。  <b>【方法】</b> ・1回の授業でLeconを1つずつ進める。ただし進度と内容は受講者の理解度により調節する。 ・アクティブラーニング形式で、グループ学習を中心に進める。 ・授業中の質問をフランス語でするためのセリフを暗記し、使ってみる。 ・教科書に沿って、口頭でやりとりの練習をする。  この科目は全回、対面授業を行います。なお状況によっては授業形態をすべて対面または一部の授業回を遠隔へ変更する可能性があります。  <b>【授業の計画】</b> (1) Initiation 1 et 2 (2)~(4) Unite 1: 名前、職業、住んでいる場所について話す *早口言葉 1			

- (5)～(7) Unite 2: 好みを言う  
(8)～(10) Unite 3: 自分について話す \*早口言葉 2  
(11)～(13) Unite 4: 趣味・家族について話す  
(14) 復習とまとめ、リハーサル  
(15) 自己&知人紹介expose oral  
期末試験

**【自宅学習】**

(予習1時間・復習1時間)

- ・教科書は日本語・Francaisの2言語で書かれているが、辞書で単語調べをしておく。
- ・音声教材を用いて、聞き取り・発音練習をする。
- ・自己&知人紹介を準備し、練習する(授業の後半)。

**教科書・参考書等**

教科書 Gael Crepieux, Philippe Callens 『Spirale Nouvelle edition 新スパイラル日本人初心者のためのフランス語教材』 Hachette アシエット・ジャポン 2650円

辞書は毎回、持参すること。

参考書については、必要に応じて指示する。

**オフィスアワー** オフィス・アワー: 予め連絡・予約すること。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

最初の授業に出席すること。この授業は、受講生の自宅学習による準備と授業中の積極的な参加がなければ進行しません。不適切な態度では学期中でも受講を断り、単位を認定しない場合があります。

**【受講者数の調整を行う場合がある】**

<b>ナンバリングコード</b> B2FRA-abxG-1N-Eg1 <b>授業科目名</b> (時間割コード:044402) フランス語会話Ⅲ (2) French conversation Ⅲ Fench conversiation Ⅲ	<b>科目区分</b> コミュニケーション 科目	<b>時間割</b> 2021年度 前期月4	<b>対象年次</b> 2～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> フランス語	<b>提供部局</b> :大教センター <b>DPコード</b> :abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム
	<b>授業形態</b> 演習 グループワーク	<b>単位数</b> 1	
<b>担当教員名</b> 太田 陽子	<b>関連授業科目</b> フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、フランス語Ⅲ、外国語演習(フランス語、経済学部開設の科目)		
	<b>履修推奨科目</b> フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、フランス語Ⅲ		
<b>学習時間</b> 講義90分×15回+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)			
<b>授業の概要</b> 耳と口をたくさん使っていきます。 道順を教える、買い物、飲食店での注文、体の痛い部分、洋服と服のサイズ、したいこと、天候、週末にしたいこと、過去の行動、何か簡単な説明その他に関して、聞いて話すexerciceを中心に進めていきます。 ペアワークで会話練習を行います。 口頭でのドリル練習(文の一部を変えながら口頭で文を作る、音声の指示に従って直ぐに口頭で答える等)もを行います。 話すときの間違いを気にしないで参加してください。			
<b>授業の目的</b> 言語運用能力を身につける。 聞いて話すための能力を身につける。 特に動詞や名詞、形容詞のさまざまな語彙を使用する。 フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱで学んだ文法を実践的に身につける。			
<b>到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>次のことがらについて簡単な表現を用いてコミュニケーションできる。              道順、買い物やレストランでの簡単なやりとり、天気(予報)、靴と服のサイズ、体の不調(痛い部分)、週末にしたいこと、過去の行動、何かの簡単な説明ほか。</li> <li>フランス語Ⅰ、Ⅱで身につけた文法を使って表現できる。</li> </ul> (共通教育スタンダード:言語運用能力/課題解決のための汎用的スキルと関連している)			
<b>成績評価の方法と基準</b> ペアワークでの貢献度&宿題状況40%、小テスト(口頭又は筆記)30点、期末試験30% (全てが到達目標に対応)			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業の方法】</b> この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。 教科書は全部で12課あります。授業中は口頭練習のためのペアワークを沢山行います。 5行ほどのディアログを訳して、筆記問題(量は少ない)も解きます(筆記問題がない課もあります)。 小テストを頻繁に実施。			
<b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備学習 1時間×15回=15時間</li> <li>事後学習 1時間×15回=15時間</li> </ul> 各課の左のページ:例文を全て訳しておくこと。例文の訳は発表して貰う予定です。文法内容は初級で学んだことなので、事前の予習でこのページの文法説明を見て、分からない箇所の質問を用意しておいてください。 各課の右ページ:事前の単語調べは必須です(口頭練習を出来るだけ沢山行う時間を確保するため)。 練習したことを定着させるため、また宿題や小テスト対策のため、自宅でも口頭練習(音読および授業中に行う口頭での文の言い換え練習など)をすること。その際、必ず音源を使うこと。			
<b>【授業計画】</b> 第1回～第15回(対面授業) <ul style="list-style-type: none"> <li>各課を1回ないし2回で進んでいくことを目指すが、受講者の様子に合わせる。</li> <li>小テストは頻繁に実施する。</li> </ul> <b>期末試験</b>			

**教科書・参考書等**

Claire RENOUL、高橋信良ほか『フランス語ルージュ2 トリコロール 会話編一(Le français tricolore:rouge 2 conversation)』、朝日出版社、税込み1,320円（生協書籍部にて購入）。

**オフィスアワー** 授業後に教室にて対応。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

フランス語Ⅰとフランス語Ⅱ内容を既に学んでいることが必要です。  
音源はダウンロードできます。  
毎回、辞書を持参すること。